

**令和 2 年度進行管理・評価シート**  
**高野町歴史的風致維持向上計画（平成 3 1 年 1 月 2 4 日認定）**  
（最終変更令和 2 年 2 月 2 9 日）

**□進捗評価シート(様式 1)**

①組織体制(様式 1-1)		
1 計画の推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式 1-2)		
1 高野町景観計画	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式 1-3)		
1 電線地中化・歩道設置事業	.....	3
2 道路美装化事業	.....	4
3 高野・熊野参詣道保存管理事業	.....	5
4 史跡金剛峯寺境内(奥院地区)大名墓総合調査	.....	6
5 文化財保存活用地域計画策定事業	.....	7
6 情報発信機能整備事業	.....	8
7 高野参詣道案内・誘導板整備事業	.....	9
8 郷土民俗芸能等支援事業	.....	10
9 高野山学推進事業	.....	11
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式 1-4)		
1 文化財の保存・活用に関する取り組み	.....	12
2 文化財の修理(整備)に関する取り組み	.....	13
3 文化財の防災に関する取り組み	.....	14
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する取り組み	.....	15
5 埋蔵文化財の取扱いに関する取り組み	.....	16
6 各種団体の状況及び今後の体制整備に関する取り組み	.....	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式 1-5)	.....	18
⑥その他(効果等)(様式 1-6)		
1 高野山の修景整備に関する取り組み	.....	19
<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式 2)</b>	.....	<b>20</b>

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和2年度
計画の推進体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

歴史的風致維持向上を推進するため、行政や文化財の関係者、関係団体、学識経験者などによる高野町歴史町づくり協議会での意見を踏まえるとともに、本計画に関連する課室の課長、担当職員で高野町歴史的風致維持向上庁内推進委員会を設置し事業の推進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

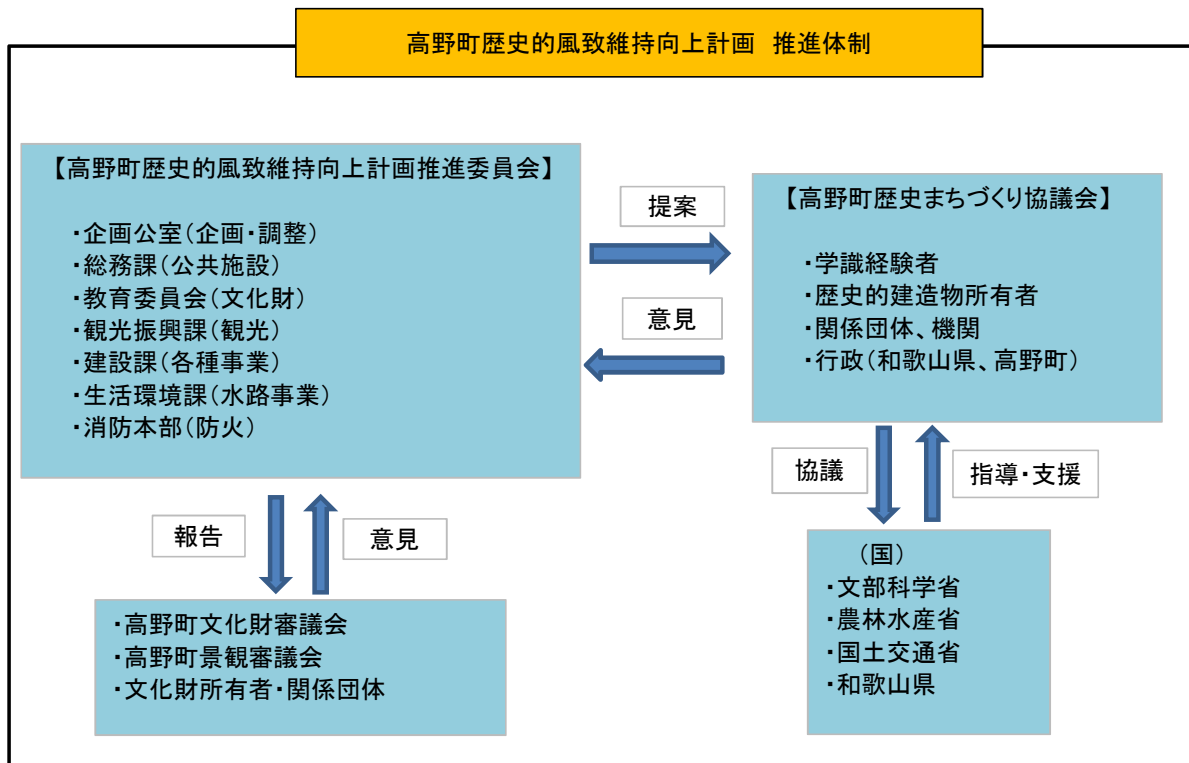
高野町歴史的風致維持向上庁内推進委員に対し、庁内における各事業の実施、推進管理及び連絡調整を実施  
 実施回数： 1回(メールでの連絡および調整)  
 高野町歴史まちづくり協議会を開催し、各事業の方針、進捗状況の報告、事業評価における意見聴取などを実施  
 実施回数： 1回(令和3年5月 書面会議)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
景観計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 高野町は、豊かな自然と文化を守るため全町域が景観計画区域に指定されている。景観法に基づく届出が必要な行為及び基準が定められ、一定規模以上の建築物・工作物等の開発に対し良好な景観を形成するよう規制している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1200年の歴史を持つ高野山には国宝をはじめとする美しい日本建築が多数存在します。その歴史、文化を受け継ぐまちなみ、美しい景観を守り、発展させていくため、届出制度並びに美しい街なみ景観整備事業対象事業補助金の活用等により、良好な景観形成を推進している。

令和2年度 景観計画区域内における届出件数: 14件

令和2年度 美しい街なみ景観整備事業補助金利用件数: 3件(うち1件繰越)

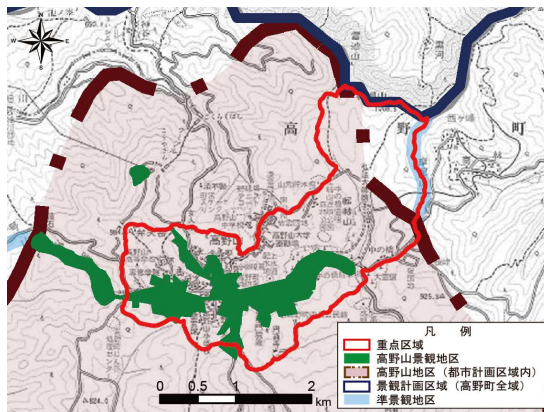
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

平成20年に景観条例を制定、平成21年3月に高野町景観計画を策定した。良好な景観の形成を実施するために建築物などの新築・改築・増築や屋外広告物など、景観が変わる行為を行う際、届出が必要であり、景観計画の基準に適合するよう指導が必要である。

状況を示す写真や資料等



高野町景観計画区域図



令和2年度 美しい街なみ景観整備事業による整備

評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
電線地中化・歩道設置事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 無電柱化推進計画事業(無電柱化事業)令和2年度～令和6年度・町単独事業

計画に記載している内容 史跡金剛峯寺境内に隣接し塔頭寺院が立ち並ぶ地区の歴史的なまちなみに調和し、安全に周遊出来るようにするため、明神社秋季大祭の神輿ルートになっている町道深山1号線、深山3号線、深山4号線の景観・防災・安全を考慮した無電柱化と歩道設置及び水路への景観に配慮した転落防止柵設置を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

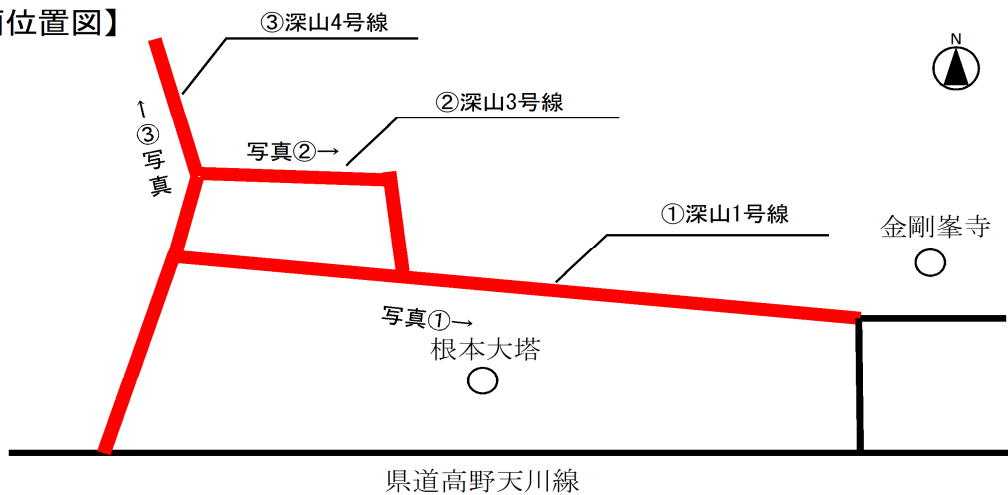
無電柱化を実施する。  
 ①調査測量設計の実施 ②配管設置工事の実施 ③電線管理者による電線等の挿入 ④既設電柱等の抜柱 ⑤歩道設置等の実施  
 令和2年度予算では①を実施②の一部に着手の実施(いずれも繰越となる。)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 埋蔵文化財包蔵地のため、掘削に関し協議及び調整が必要となる。また、新型コロナウイルス感染症対策により、調整に時間を要する。

状況を示す写真や資料等

【計画位置図】



①深山1号線



②深山3号線



③深山4号線



評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
道路美装化事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和2年度～令和10年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)令和2年度～令和5年度
計画に記載している内容	重点区域内には中心道路沿いでなく、その他の沿道沿いにも歴史的建造物や文化財が多く存在する。高野山の中心道路である高野参詣道町石道から国道や重要文化財が存在し、史跡高野参詣道女人道へ繋がる地区への周遊を促進するため町道の美装化(美装舗装・街灯整備)を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

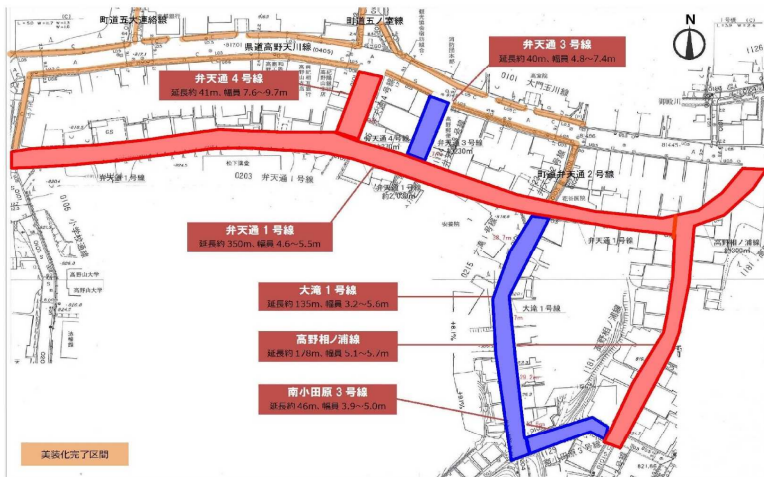
各路線ごとに美装化を行う。  
(町道高野相ノ浦線、町道弁天通1号線、町道弁天通3号線、町道弁天通4号線、町道大滝1号線、町道南小田原3号線)  
令和2年度に各路線の測量設計が完了、順次美装化を行う。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	埋蔵文化財包蔵地のため、掘削に関し協議及び調整が必要となる。また、生活道路として利用している道路であるため、事業実施にあたり地元との調整が必要となる。

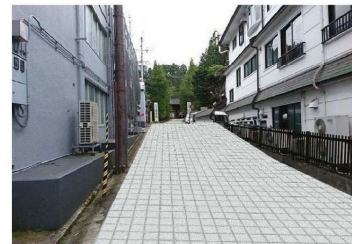
状況を示す写真や資料等

街なみ環境整備事業(道路美装化) 全体イメージ図

全体図



全面平板ブロック イメージ図



歩車分離 イメージ図



	全面平板ブロック (弁天通3号線、大滝1号線、南小田原3号線)
	歩車分離 (弁天通1号線、弁天通4号線、高野相ノ浦線)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
高野・熊野参詣道保存管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名  
 町単独事業  
 国宝重要文化財等保存整備費補助金  
 和歌山県文化財保護費補助金  
 和歌山県世界遺産緊急保全対策事業補助金

計画に記載している内容  
 各参詣道の保存活用を図るため日常的な保守点検、環境整備及び参詣道が損傷した場合の速やかな修繕を実施するなど適切な管理を推進する

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高野・熊野参詣道の保存管理については、月1回及び荒天後のパトロールの実施と日常的な環境整備を行っている。参詣道で発生した倒木除去や木橋の補修等の緊急的な参詣道の修繕を実施し、参詣道の良好な環境を維持している。  
 町石道修繕: 2件(32町石付近倒木除去, 20町石付近木橋修繕)  
 女人道修繕: 1件(子継地蔵付近階段修繕)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

参詣道の良好な環境を維持するため、定期的なパトロールを継続するとともに、経年劣化等の状況を把握し、破損カ所等の計画的な修繕の実施に努める。

状況を示す写真や資料等

高野参詣道町石道(32町石付近)倒木除去作業



倒木状況



倒木除去作業状況



町石道 倒木除去後



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
史跡金剛峯寺境内(奥院地区)大名墓総合調査	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和6年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 史跡金剛峯寺境内であり、史跡高野参詣道町石道が通っている奥院地区の適切な管理、効果的な活用のためには、地区内に存在する数多くの大名等の墓所の把握、価値付けが必要である。各藩主や戦国大名について、墓所の位置、構成、墓石の銘文などの調査を行うことにより、奥之院の墓所の内容を明らかにする

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

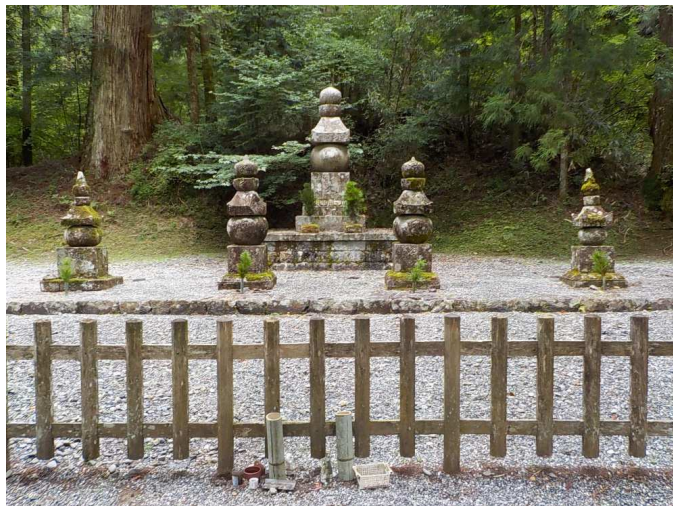
今年度は奥之院に所在する大名墓のうち、中の橋以北にある大名クラスの石塔約300基を対象に銘文の調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	奥之院に所在する石塔のうち、まずは大名クラスの石塔を対象として、銘文調査を継続的に実施し、全体の調査が完了した段階で報告書を刊行する

状況を示す写真や資料等



松平秀康及び同母霊屋



豊臣家墓所

評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
文化財保存活用地域計画策定事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和5年度		
支援事業名	町単独事業 文化遺産総合活用推進事業(文化財保存活用地域計画)		
計画に記載している内容	高野町の各種歴史的文化的資源の適切な感知・活用のため文化財全般にわたる基礎調査や台帳整備等が必要である。 文化財保存活用地域計画を策定し、高野町の歴史文化の振興及び地域活性化を推進する。また、得られた情報はホームページ等の活用やシンポジウム等の開催により町内外の人々に適切な情報発信を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財保存活用地域計画策定のため、町内に所在する文化財の内、建造物を対象として調査を実施。今回の調査は、昨年度の悉皆調査により抽出された重要性の高い建造物の詳細調査を実施。今年度は、36棟の建造物の調査を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各種未指定文化財の件数が膨大であるため、基礎調査に時間を要する。		

状況を示す写真や資料等



壇上加藍 西塔



壇上加藍 山王院拜殿



女人堂



金輪塔



評価軸③-5  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
情報発信機能整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	町単独事業 旅行環境整備事業費補助金 (地方での消費拡大に向けた旅行環境整備支援事業)		
計画に記載している内容	訪れた観光客や地域住民などに観光情報センターやICT等を活用し、歴史や文化、観光、各種イベントなど、各種情報提供を幅広く発信していくために、観光情報センターでの展示、Wi-Fi環境の整備、ホームページの充実、多言語情報発信ツールなどの情報発信機能整備を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高野山観光情報センターを整備、平成30年7月2日開館 平成30年度来館者数 57,489名 令和元年度来館者数 75,477名 サイネージ整備:2基、展示物の多言語化、iPad設置:4器、QRトランスレーターの導入 令和2年度来館者数 63,939名 計 延べ202,738名(令和3年3月31日現在)			
進捗状況	※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	年々歳々行われる法会等を説明する多言語化資料の作成が必要		

状況を示す写真や資料等



**サイネージ(2基)**  
高野山のPR映像  
月間の行事予定 を発信



**展示物の多言語化**  
パネルについては、日本語及び英語で表記  
他の言語については、QRトランスレーターを導入し、フランス語、ドイツ語、タイ語、中国



**パンフレットラック**



**iPad(4器)整備**  
情報収集、多言語対応で利用



**JNTOカテゴリ-2の観光案内所**

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
高野参詣道案内・誘導板整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～令和10年度
支援事業名	観光庁 地域観光資源の多言語解説整備支援事業(平成30年度～令和元年度) 観光庁 観光地の「まちあるき」の満足度向上整備支援事業(令和2年度～) 文化庁 文化資源活用事業費補助金(令和2年度～令和4年度)
計画に記載している内容	山中の参詣道を巡る参詣者や観光客の視点に立ち、迷うことなく巡れるよう案内板や誘導板の整備を行う。近年増加している外国人観光客にも対応できるよう統一されたデザインや多言語表示などの整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度 高野参詣道女人道を中心に、英語表記の原文作成。  
 令和元年度 高野参詣道町石道の英語表記の原文作成。  
 令和2年度 高野参詣道町石道及び女人道沿いに多言語解説案内板を設置

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	高野参詣道は史跡や世界遺産登録に登録されており関係部署が多岐にわたるため、関係者協議を行いながら事業を進める。

状況を示す写真や資料等



町石道を紹介する多言語解説案内板の整備  
 ・新規設置 1基  
 ・既存案内板のリファイン 3基



町石道の見所を紹介する多言語解説案内板の整備 (大型看板)  
 ・新規設置 1基  
 ・既存案内板のリファイン 1基



町石道の見所を紹介する多言語解説案内板の整備 (小型看板)  
 ・既存案内板のリファイン 3基

令和2年度 多言語解説案内板の整備成果品 (高野参詣道町石道分・計9基)



女人道を紹介する多言語解説案内板の整備  
 不動坂口女人堂横トイレ 1基



女人道を紹介する多言語解説案内板の整備  
 轆轤峠 1基



女人道を紹介する多言語解説案内板の整備  
 中の橋駐車場 1基

令和2年度 多言語解説案内板の整備成果品 (高野参詣道女人道分・3基)



## 評価軸③-10

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
郷土民俗芸能等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	高野町の各種民俗芸能の保存伝承のための用具の維持管理と後継者指導育成などの活動事業費の補助や必要に応じて調査研究を行うとともに民俗芸能等に関する記録を作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新型コロナウイルス感染症の影響により、民俗芸能団体の活動が休止されていたため、支援事業を実施できなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	民俗芸能を実施する団体の活動を支援することで、民俗芸能の維持伝承に努める。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-11  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
高野山学推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容  
高野山学は歴史と文化によって育まれた「高野山」を体系的に学び、再発見することを目的とする。弘法大師空海が開創して以来、高野山は真言密教の聖地として独自の文化を創り、今日まで継承してきた。その文化を歴史・思想・芸術・信仰・自然・政治・建築などのさまざまな視点で学ぶことができる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症の影響により、講座を開催できなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

高野山が育んできた文化を様々な視点から学び、その魅力を再認識していただくための講座を開催することで、高野山の魅力を発信していく。

状況を示す写真や資料等

**高野山学**

主催 / 総本山 金剛峯寺 高野山大学 高野町 高野町教育委員会

高野山の魅力を体系的に学び、再発見するための講座です。どなたでも受講でき、興味や関心のある講座のみの受講もできます。

**令和2年度 受講生募集**

お問い合わせ先 高野山学事務局 TEL 0736-56-2076 / FAX 0736-56-4831

基本講座 時間 10:30~12:00 高野山大学201教室 (4月18日～) 受講費1,000円

4月18日	第1回 学山高野の歴史と展望	栗山 晋司
5月16日	第2回 丹生・高野阿明神の原像学—変身する神々—	大河内智之
6月20日	第3回 高野山の納骨信仰と石塔	狭川 真一
7月18日	第4回 密教と豊茶屋	松城 晋史
8月29日	第5回 高野聖というもの—八万四千宝塔にみる実態—	山口 文章
9月19日	第6回 金剛峯寺巡遊(女人堂・一心口)	大塚 隆雄
10月17日	第7回 空海と鑑鏡天童—[性霊集]からさぐる交流—	藤木 洵
11月14日	第8回 金剛峯寺年中行事について	高井 知弘

中級講座 時間 13:00~15:00 高野山大学201教室

5月16日	横笛と瀬口入道—高野女人寮史—	浜畑 圭香
8月29日	万灯会願文にみえる大師の願い	乾 龍仁

体験講座 季節の基本講座で専用用紙にて案内します(要申し込み) (時間は各講座で異なります)

4月30日	真別処の歴史	浅井 謙磨
6月20日	高野山の納骨信仰と石塔(下記同内容)	狭川 真一
6月21日	高野山の納骨信仰と石塔(上記同内容)	狭川 真一
7月18日	金剛峯寺(大主殿ほか)の建築的魅力にふれる	結城 啓司

受講料

当日 1,000円	基本講座
年間 5,000円	基本講座(年間)
当日 2,000円	中級講座
当日 有料 金額未定	体験講座

先着250名

会場 高野山大学 和歌山県伊都郡高野町高野山385

令和2年度 高野山学チラシ

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
文化財の保存・活用に関する取り組み		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
文化財の文化財は指定・登録の有無を問わず調査を行い、価値が判明したものについては、町指定や国の登録制度などの活用、または歴史的風致形成建造物や町景観重要建造物の指定を検討するとともに、適切な保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備や耐震補強等の防災対策等を行なう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の適切な保存管理や活用を図るため、悉皆調査結果により、重要性が高い評価の建造物のうち、36棟の詳細調査を実施した。また、奥之院に所在する多数の石塔のうち、大名クラスの石塔を対象として銘文調査を進めており、約300基の調査を実施した。  
これにより、文化財の適切な保存活用に寄与した。

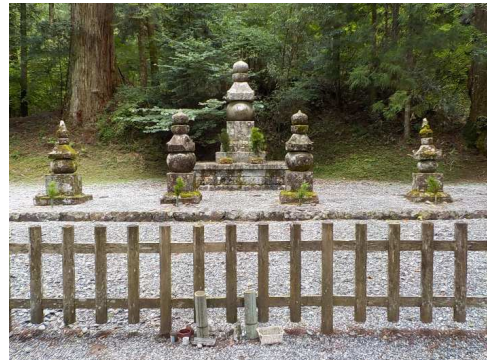
進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各種の未指定文化財の調査を進め、地域の文化財の全体把握に努める。また、文化財の適切な維持管理や防災対策等が進むよう、文化財所有者や関係機関との連携に努める

状況を示す写真や資料等



奥之院の墓所(松平秀康及び同母霊屋)



奥之院の墓所(豊臣家墓所)



壇上加藍 山王院拝殿



徳川家霊台 四脚門



女人堂



金輪塔



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の修理(整備)に関する取り組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の修理は、過去の改変履歴や調査記録などの活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。整備にあたっては、関係機関の指導を仰ぎつつ、それらと連携して適切な整備と修理を実施する。また、各種補助制度を積極的に活用するとともに、民間企業等の支援や連携の推進を図っていくものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理としては、1件の建造物(重要文化財)の修理と1件の美術工芸品(重要文化財)の修理の支援を行った。また、次年度の文化財修理等が円滑に実施できるよう所有者や関係機関と綿密な調整を行った。これにより、文化財の適切な保存活用に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	非常に多くの文化財が存在するため、各文化財の劣化状況等の把握に努め、計画的に修理が実施できるよう、文化財所有者や関係機関との連携に努める

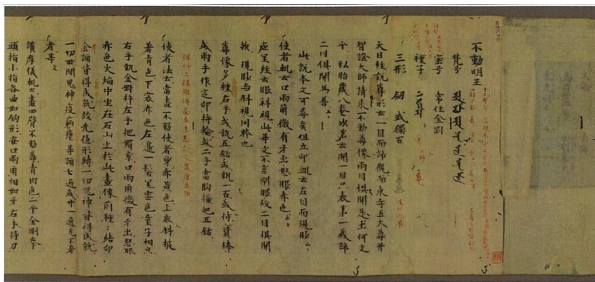
状況を示す写真や資料等



重要文化財 金剛峯寺奥院経蔵 修理前全景

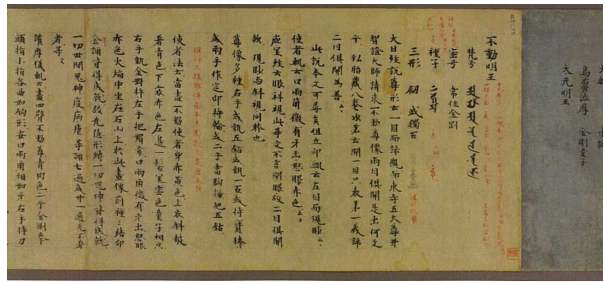


重要文化財 金剛峯寺奥院経蔵 修理前屋根近接



修理前

重要文化財 十巻抄 修理前



修理後

重要文化財 十巻抄 修理後

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度 令和2年度

項目	現在の状況
文化財の防災に関する取り組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 火災報知器や消火設備等の防火設備の設置に努め、防災教育・訓練は文化財の所有者等に対して防災に係る周知啓発に取り組み、所有者・管理者・消防が一体となった防災訓練を実施する。  
 地震への対応としては耐震診断を進め、可能な限り耐震補強工事を実施して毀損・滅失のリスク軽減を図る

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーの時期に合わせ、文化財防火に関する広報活動を実施した。  
 文化庁任命の文化財防災調査員と共に重要文化財建造物に関する文化財防災設備の現況調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者、管理者、消防団、消防署と連携し、設備の把握や、防災訓練を実施することで、適切な文化財の防災体制が維持できるよう、文化財関係者の連携に努める。
--	--

状況を示す写真や資料等



文化財防火に関する広報活動

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する取り組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 町内外の人々を対象として実施する普及・啓発は、案内板などの設置や文化財パンフレット等の配布とともに、近隣市町や文化財所有者・管理者と協働で参詣道散策や指定文化財の公開等のイベントを開催、町民を対象とした普及・啓発は、広報誌や各種イベント開催などを通じて文化財に対する意識の向上を図り、文化財への愛着を育んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町広報誌で月1回の文化財関係記事の連載を実施し、町民の文化財に対する意識向上に寄与した。新型コロナウイルス感染症の影響により、参詣道等の文化財を活用したイベントは実施できなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応      実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 文化財に関する普及啓発については、様々な年齢層の方々に対応できるものを検討実施していく

状況を示す写真や資料等

令和3年2月26日      高野 KOYA 野      第80号(2)

阿弥陀院の起源はわかりませんが、東富貴の宝蔵院と同じ頃に建立されたといわれています。江戸時代末に天誅組が拳兵した際には、天誅組を討討しにやってきた紀州藩の本陣にもなりました。


梵鐘には「昭和式拾四年五月吉日」と刻まれています。阿弥陀院と東富貴宝蔵院の梵鐘は第二次世界大戦中に供出されたため、昭和24年(1949)に新しく作られ、両寺院の梵鐘落慶法要は6月16日に行われました。

阿弥陀院は昔から今も西富貴各家の檀家寺として親しまれています。

(教育委員会)

昔から今も残る高野町内の名所シリーズ 59

阿弥陀院(西富貴)

阿弥陀院

阿弥陀院の梵鐘

高野町広報誌での連載



評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組み

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

埋蔵文化財包蔵地において土木工事等を行う際、届出・通知の必要を周知し、その義務を徹底するとともに、該当する場合は開発事業者との事前調整を経て、試掘・確認調査、発掘調査などで現状把握を行い、その調査結果をもとに、適切な保護措置を和歌山県教育委員会に指導・助言を受けながら実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

埋蔵文化財の取り扱いについては、手引きを作成して配布することで、埋蔵文化財包蔵地での土木工事等を行う際の手続きを開発業者に示している。また、13件の埋蔵文化財発掘の届出・通知があり、特に事前の現状把握が必要な場合については、確認調査を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

埋蔵文化財包蔵地での立会調査や確認調査のデータを蓄積することで、開発行為の際に適切な埋蔵文化財の保護できるように努める。

状況を示す写真や資料等



埋蔵文化財確認調査 重機掘削状況



埋蔵文化財確認調査 土層断面確認状況



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和2年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
無電柱化 街並み戻す 美しい高野山 訪日客にアピール	R2.8.11	読売新聞(夕刊)	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高野町の景観行政の取り組みが報道されることにより、町内外へのアピールと高野町の歴史まちづくりの周知につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

著作権保護のため新聞記事は掲載していません

項目

高野山の修景整備に関する取り組み

計画に記載している内容 高野山は弘法大師が真言密教の道場として開創された伝統と歴史あるまちであり、聖と俗を隔てる境界に幾重にも包まれている。高野町民はその歴史、文化を受け継ぐまちなみを守り、美しい景観をつくっていく

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

高野町では平成2年「電線地中化事業」を皮切りに、聖地高野山の景観を取り戻すため、条例整備や修景整備に関する補助事業の実施、町民への修景整備補助制度の創設などの様々な事業を実施し、歴史的な修景整備に取り組んでいる。

平成14年3月度「高野町の歴史と文化を活かした街並景観及び自然景観に関する条例」を制定

平成16年7月「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録

平成20年1月景観行政団体に指定

平成20年12月に「高野町景観条例」を制定

平成21年3月に高野町景観計画を策定

平成31年1月「高野町歴史的風致維持向上計画」認定

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



現在の町なみ

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和3年度 第1回 高野町歴史まちづくり協議会(書面会議)	
会議等の開催日時: 令和3年5月7日～20日	
(コメントの概要) 奥の院の大名墓碑の所有者はかつては財政的余裕のある方が多かったが、昨今は必ずしもそうでないので、修理等に公的な援助を必要としている。	
(今後の対応方針) 災害等で破損したものについては、世界遺産緊急保全対策事業補助金(県補助・補助率50%)で援助可能なものもあり、これまでも何件か援助を行っている。 過去に破損しているものについては、国史跡の整備事業の補助金で援助できる可能性があるが、この補助を受けるには史跡の所有者が保存活用計画を策定し、各大名墓を史跡の重要な構成要素に位置づける必要がある。保存活用計画の策定に関しては、所有者・占有者(金剛峯寺、関係する塔頭寺院等)が共に策定に向けて動くのであれば、町(教育委員会)としては、策定に向けて支援する用意がある。	

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和3年度 第1回 高野町歴史まちづくり協議会(書面会議)	
会議等の開催日時: 令和3年5月7日～20日	
(コメントの概要) 「高野山学推進事業」について、コロナ禍で令和3年度も開催が難しい場合、オンラインによるWEB講座の開催を検討されてはどうか？	
(今後の対応方針) 高野山学の目的の一つである高野山の魅力を体現するには、現地での受講が必須であることや、受講生の年齢層の偏りが60代～70代で、学生等のいる家庭ではなく、インターネット環境が整わない人が多い。このことから「高野山学」は対面授業がふさわしい。また、WEB講座の場合、受講料をどうするかの問題点がある。以上のこともふまえて運営委員会では、今年度(令和3年度)について、基本講座を午前と午後、同講師・同内容で1日に2回実施することを決め、分散して現地で受講していただけるよう検討した。	